

神奈川県力構想

「神奈川県力構想・実施計画」 (2007年7月策定)

<計画期間 2007 (平成19) 年度～2010 (平成22) 年度>

第1章 施策展開に当たって

第2章 主要施策

- | | |
|--------------|------------|
| 1 政策分野別 | 2 地域別 |
| I 産業・労働 | ○ 川崎・横浜地域圏 |
| II 健康・福祉 | ○ 三浦半島地域圏 |
| III 安全・安心 | ○ 県央地域圏 |
| IV 教育・子育て | ○ 湘南地域圏 |
| V 県民生活 | ○ 県西地域圏 |
| VI 環境 | |
| VII 県土・まちづくり | |

第3章 戦略プロジェクト

- 1 重点方向
- ① 神奈川の力を生かした活力ある産業基盤づくり
 - ② 安心してともにくらせる地域社会づくり
 - ③ 高齢者が力を生かすしくみづくり
 - ④ 明日の神奈川を拓く次世代づくり
 - ⑤ 地球環境の保全と持続可能な社会づくり
 - ⑥ 地域の特性を生かした活力と魅力ある地域づくり
 - ⑦ 新しい公共を担う地域のしくみづくり

2 38の戦略プロジェクト
重点的・優先的に取り組む38
の「戦略プロジェクト」

第4章 計画の推進に当たって

「神奈川県力構想・基本構想」 (2007年7月策定)

<計画期間 2007 (平成19) 年度～2025 (平成37) 年度>

第1章 神奈川のすがた

- 世界に開かれた神奈川
- 首都圏を支える個性豊かな神奈川
- 多彩な力をもつ神奈川

第2章 神奈川をとりまく社会環境

- 1 少子化、高齢化と人口減少
- 2 国際化と情報化
- 3 産業構造の転換と働き方の多様化
- 4 環境問題の新たな展開と県民の意識の高まり
- 5 暮らしの様々な課題
- 6 地方分権改革の進展

第3章 基本目標

- 1 基本理念
- 神奈川県力高め、
新たな時代を創造する
- 2 実現をめざす3つの神奈川
- ① 世界に開かれた 活力あふれる
神奈川
 - ② ゆとりある 暮らしやすい神奈川
 - ③ ともに支え ともに創る神奈川

第4章 政策の基本方向

- 1 政策展開の基本的視点
- ① 地域に活力を生み出します
 - ② 少子化、高齢化への対応を進めます
 - ③ 豊かさの質的充実を支援します
 - ④ 暮らしの安全・安心を確保します
 - ⑤ 県民との協働・連携を強化します
 - ⑥ 地域主権を実現し、広域連携の強化など
広域自治体としての責任を果たします
- 2 政策分野別の基本方向
- | | |
|-----------|--------------|
| I 産業・労働 | V 県民生活 |
| II 健康・福祉 | VI 環境 |
| III 安全・安心 | VII 県土・まちづくり |
| IV 教育・子育て | |
- 3 地域づくりの基本方向
- 川崎・横浜地域圏
 - 湘南地域圏
 - 三浦半島地域圏
 - 県西地域圏
 - 県央地域圏

第5章 基本構想の見直し

神奈川県力高め、
新たな時代を創造する

第1章 戦略プロジェクト

・・・ P5

- ◎ 38のプロジェクトごとに、2008年度の実績と2009年度以降の取組みの方向性をとりまとめました。
- ◎ 県の一次評価に対する総合計画審議会の二次評価の内容を掲載しました。

分野別索引 P 7
凡例 P10

〔目標の達成状況の分析〕

- ・ プロジェクトごとに掲げた2008年度の目標の達成状況を、A、B、C、Dの4つのランクで評価しました。
- ・ 目標値と実績値に差が生じた場合は、その原因を分析し、目標が達成されなかった場合は、今後の対応を整理しました。

【目標の達成状況について】

38のプロジェクトで掲げた78の目標のうち、本書の発行時点で2008年度の実績を数値で把握できたものは50ありました。そのうち、目標の値を達成したもの（ランクA）は 33(66.0%)でした。また、目標の値を80%以上達成したもの（ランクB）は14(28.0%)で、ランクAとBの合計は47(94.0%)でした。

<ランク>	区 分		目標数	割合	
	A	年度別の目標の値を達成	33	66.0	%
	B	年度別の目標の値を80%以上達成	14	28.0	%
	C	年度別の目標の値を60%以上達成	0	0.0	%
	D	年度別の目標の値の達成状況が60%未満	3	6.0	%
	達成状況が把握できたもの		50		
	達成状況が把握できないもの		28		
	目標の数の合計		78		

目標の達成状況一覧はP8～9に整理しています。

〔総合分析〕

- ・ 目標の達成状況のほか、他の統計データなどから、プロジェクトのめざすがたがどの程度実現されているのかを客観的に分析しました。
- ・ 事業実施において、他の実施主体との役割分担など実施方法が適当であったか、より効率的な実施方法としたかなど、適切な行政コストという視点から評価しました。
- ・ 目標の達成状況にプロジェクトのめざすがたの実現度や構成事業の取組み状況を加味して、プロジェクトの総合評価を行いました。

〔総合計画審議会の二次評価〕

- ・ 上記の総合分析などの検証を中心に、総合計画審議会が二次評価を行い、その主な内容を掲載しました。（二次評価全体の内容については、神奈川県総合計画のホームページで公表しています。）
- ※ プロジェクトの構成事業ごとの取組み状況については、2008年度の実績概要を白書に記載しています。（このほか、詳細については、神奈川県総合計画のホームページで公表しています。）

第2章 3つの神奈川に即した社会指標

・・・ P139

- ◎ 地域社会や県民のくらしの状況を示す社会指標を設定し、県がめざす将来像がどの程度実現されつつあるのか、県民の身近な生活の状態はどうかを数値により測定し今後の課題などを整理しました。

第3章 プロジェクト事業費

・・・ P149

- ◎ 戦略プロジェクトの2009年度までの予算化状況を取りまとめました。

神奈川県総合計画のホームページ

(<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/01/0102/sougou/suishin/index.html>)

- 神奈川県総合計画のホームページでは、白書2008に掲載した内容に加えて、次のような内容も公表しています。

1 総合計画審議会の二次評価全体の内容（二次評価調書）

2 戦略プロジェクトの構成事業の進捗状況の詳細

3 主要施策の主な取組み

- ◎政策分野別 7つの政策分野ごとに、2008年度に取り組んだ事業と2009年度の取り組む事業を包括的・体系的に整理しました。
- ◎地域別 5つの地域政策圏ごとに、2008年度の実績概要の状況の詳細について、事業単位でとりまとめました。

4 戦略プロジェクトの目標の追加把握（把握できた段階で四半期ごとに公表します。）